＜自治労東海地連国際連帯カンパ＞

私たちとアジアの架け橋

ラオスに公共図書館をつくろう

＜図書館は、 本を分かち合い、すべての人が本と出会い、学び、心癒す広場です＞

自治労がベトナム、ラオス、カンボジアで進めているアジア「子どもの家」の活動は、図書館・幼稚園・児童館事業など組合員の仕事を通した交流や支援を可能にした、新しい国際連帯の広場です。私達はアジア子どもの家スタディツアー、絵本を届ける活動の取り組みにより、ラオスとの交流と友好を深めてきました。

いまラオスは、長年の植民地支配、内戦という激動の歴史から、自立への歩みを進めています。しかし、経済的には厳しい現状にあり、小学校を途中でやめざるをえない子どもも多く、卒業率41%、成人識字率57%との報告もあります。さらに経済的困窮を反映し、本の出版点数は年間50タイトルほどしかありません。

私達はその現実を知り、学校教育支援の必要性とともに、年齢を超えだれもが本と出会い、学ぶことのできる公共図書館の重要性を痛感してきました。「経済的に厳しい、本が少ない、だからこそ本を分かち合い、すべての人が利用できる公共図書館が求められている」そうした思いから、図書館建設支援の取り組みを行うことにしました。

ラオスの子どもたちが、本と出会い、学び、憩うことのできる広場、公共図書館建設・運営支援のために、みなさんのあたたかい「カンパ」をお願いします。

そして、この図書館を私たちとアジアの架け橋、共に学び合う交流の広場としたいものです。

＜図書館は、ラオス南部の都市「サワンナケート」に建設。2003年7月開館予定です＞

										あなたのお名前

取扱い単組	支部名